

## 山崎先生

僕の手首の病気を治すために三年間一緒に頑張ってくれてありがとう。

「君の身体のことだからきちんと君に説明するね。」と全部話してくれるから、飲むと気持ちが悪くなる薬も、飲み続けることが出来ました。

採血が上手な安田さん(臨床検査技師)を検査の時に、指名するかどうかが迷っていた時、

「そういう事はどんどん言っていんだよ。」と背中を押してくれました。

気持ちが悪くなる薬は、昨年卒業出来たし、採血検査室では毎回「安田さんでお願いします。」と伝えられるようになったし、山崎先生は、リウマチ科の先生でありながら、僕の気持ちを受けとめてくれる友人のような存在でもあります。

僕なら、僕と同じ病気の人の痛みや辛さが理解出来ると思ひ、先日、山崎先生と同じリウマチ科の医師になって役に立ちたいと伝えたところ、「君が早くお医者さんになってくれないと、先生が君に教えられる時間が少なくなっちゃうよ。」と笑顔で応援してくれました。

山崎先生みたいな医師になる夢を叶えるために、勉強を頑張り、嫌な注射も我慢します。

いつもありがとう。そして楽しみに待っています。

悠宏